

授業の実際 7 / 9

(1) 指導目標

音楽の仕組みを生かして音を音楽に構成することに見通しをもち、主体的に音楽をつくる学習に取り組むことができるようにする。

(2) 展開

過程	学習活動	教師の指導 (○)、支援 (●)、発問 (★) 児童の主な反応 (・)	評価規準と評価方法					
導 入	0 音楽遊びをする。 1 めあてをつかむ。	○リズム模倣をして、楽しく学習が始められるようにした。 ○初めて伴奏付きの音楽をつくることを伝えた。						
展	<p style="text-align: center; border: 2px solid blue; border-radius: 15px; padding: 5px;">つくりたい音楽のイメージをもち、和音の移り変わりに合う旋律をつくろう。</p> <p>2 音楽づくりに見通しをもつ。 (1) 伴奏を聴いて、それぞれの伴奏から、音楽のイメージすることについて考える。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>〈伴奏①〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・和音 ・付点四分音符と八分音符の軽快なリズム ・前奏付き <p>〈伴奏②〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・分散和音 ・シンコペーションのなめらかな音の動き ・前奏・後奏付き </div>	<p>○2つのパターンの伴奏を聴かせた。</p> <p>○2つの伴奏から、それぞれの音楽のイメージについて考えさせ、伴奏も音楽を特徴付けることに気付かせた。</p> <p>○和音を確認し、和音の移り変わりはどちらの伴奏も同じことを確認した。</p> <table border="1" style="margin: 10px auto; text-align: center;"> <tr> <td style="padding: 2px 10px;">I</td> <td style="padding: 2px 10px;">IV</td> <td style="padding: 2px 10px;">I</td> <td style="padding: 2px 10px;">V7</td> <td style="padding: 2px 10px;">I</td> </tr> </table> <div style="text-align: center; margin-top: 10px;"> <div style="border: 2px solid red; padding: 5px; display: inline-block;"> 発問の工夫① </div> </div>	I	IV	I	V7	I	
I	IV	I	V7	I				
開								
<p style="background-color: #FFDAB9; padding: 5px;">★今から2つのパターンの伴奏を聴きます。それぞれの伴奏から、どのようなことを感じますか。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 10px; width: 45%;"> <p>〔伴奏①〕</p> <ul style="list-style-type: none"> ・飛び跳ねる感じ。 ・元気な感じ。 ・付点のリズムが楽しい。 ・低音が力強い感じ。 ・後奏がなくて、歯切れよく終わっていて盛り上がっていく感じ。 </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 10px; width: 45%;"> <p>〔伴奏②〕</p> <ul style="list-style-type: none"> ・なめらかな伴奏。 ・旋律のような伴奏。 ・ゆったりした感じ。 ・静かさがある。 ・高い音が出ているので美しさが感じられる。 ・後奏があって、しんみりした感じがする。 </div> </div>								

発問の工夫②

- (2) 伴奏から感じ取ったことを基に、音楽づくりに見通しをもつ。
- 感じ取ったことを基に、どのような音楽をつくりたいか見通しをもたせた。

★どちらの伴奏を使って、どのような音楽をつくりたいですか。

〈伴奏①を使って〉

- ・元気が出てくるような音楽をつくりたい。
- ・朝の感じを表現したい。
- ・わくわくする楽しい音楽をつくりたい。

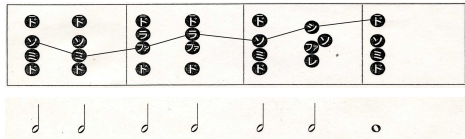
〈伴奏②を使って〉

- ・静かな海のイメージで音楽をつくりたい。
- ・夏の終わりの寂しさを表現したい。
- ・のどかな春の雰囲気音楽にしたい。

- (3) 音楽づくりの過程を確認する。
- 教科書を見ながら、音楽づくりの過程を確認させた。

- 3 和音に含まれる音を使って旋律をつくる。
- 本時は、二分音符で旋律をつくり、次時にリズムを工夫することを伝えた。

- (1) 階名を線で結ぶ。
- 二分音符で旋律をつくらせ、次時のリズムの工夫がしやすくなるようにした。
- 階名を線で結ばせながら旋律をつくらせた。



- CDを準備して伴奏を聴かせ、つくりたい音楽のイメージを膨らませリコーダーで演奏しながら音楽をつくるようにした。

- (2) 互いに聴き合いながら旋律を工夫する。
- 二人で活動して、互いに感想や助言を伝え合わせた。

〈児童の感想・助言〉

- ・旋律の動きがゆるやかだったら、静かな感じになるね。
- ・最後の音を「ミ」にしたら、寂しい感じが出るね。後奏があるから、「ミ」で終わっても、まとまっているよ。
- ・伴奏に高い音が出てくるから、旋律にもサミングを入れてみよう。
- ・だんだん旋律の音を上げたら、盛り上がっていく感じになったよ。
- ・音の動きがはっきりしている方が、楽しい雰囲気になるね。伴奏に合った感じがするよ。

伴奏①
練習室
伴奏②
音楽準備室

音楽の仕組みを生かして音を音楽に構成することに見通しをもち、主体的に音楽をつくる学習に取り組もうとしている。

【関③ ワークシート・行動観察】


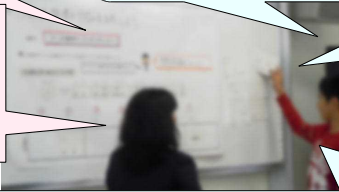
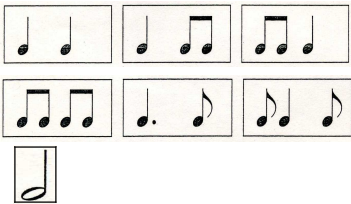
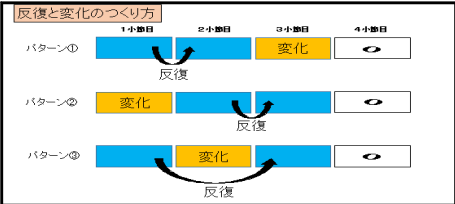
/ ま と め	4 全体で交流する。 5 次時の学習を知る。	<ul style="list-style-type: none"> ●リコーダーでの演奏が難しい児童に対しては、指導者が演奏をして見せ、イメージをつかむことができるようにした。 ○互いに工夫したところを発表させた。 ○ワークシートは全員分を掲示し、友達の工夫を9時目の活動で生かすことができるようにした。 ○次時は、リズムを工夫することを確認した。 ○音楽の仕組みである反復や変化について振り返らせた。 <li style="text-align: center;"> 反復・変化のつくり方 ☞ここをクリック ○本時のめあてを振り返らせ、次時への意欲が高めさせた。 	
------------------	---	--	--

授業の実際 8 / 9

(1) 指導目標

音楽の仕組みを生かして、音を音楽に構成するための試行錯誤をし、つくる音楽やその方法について自分の思いや意図をもつことができるようにする。

(2) 展開

過程	学習活動	教師の指導 (○)、支援 (●)、発問 (★) 児童の主な反応 (・)	評価規準と評価方法
導 入 ／ 展 開	0 音楽遊びをする。  1 学習内容を知る。 (1) 前時の学習を振り返る。 (2) 本時のめあてをつかむ。	○リズム模倣をして、楽しく学習が始められるようにした。 ○前時につくった旋律をそれぞれの伴奏に合わせて演奏させた。 ○イメージに合った旋律をつくるためにリズムを工夫するという目的意識をもたせた。	
	2 活動に見通しをもつ。 (1) リズムの工夫の仕方に 見通しをもつ。	○全体でリズムの工夫を試した。 <div style="background-color: #90EE90; padding: 5px; text-align: center; margin: 10px 0;"> 発問の工夫③ </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 10px; margin: 10px 0;"> <p>★「明るく、どんどん楽しくなる」音楽にするために、二分音符をどのようなリズムに変えたらよいでしょう。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="border: 1px solid gray; padding: 5px; width: 20%;"> <p>♪. ♪ に変えたら どんな感じかな？</p> </div> <div style="border: 1px solid gray; padding: 5px; width: 20%;"> <p>♪ を ♪ ♪ に変えるより、♪ ♪ ♪ に変える方が楽しい感じがするね。</p> </div> </div> <div style="text-align: center; margin: 10px 0;">  </div> <div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="border: 1px solid gray; padding: 5px; width: 30%;"> <p>「反復」「変化」を使ったら、音楽がまとまるよ。</p> </div> <div style="border: 1px solid gray; padding: 5px; width: 30%;"> <p>リコーダーで演奏してみよう。 ♪ ♪ ♪ はどうかかな？</p> </div> </div> <div style="border: 1px solid gray; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>1小節目と3小節目を「反復」させて演奏してみよう。どんな感じになるのかな。楽しい感じが表現できたね。</p> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-around; margin-top: 10px;"> <div style="text-align: center;"> <p>『使用するリズムカード』</p>  </div> <div style="text-align: center;"> <p>『反復カード』</p>  </div> </div> </div>	○つくった旋律のリズムを工夫しよう。 ○既習のまとまりのある旋律をつくるコツを確認する。

展

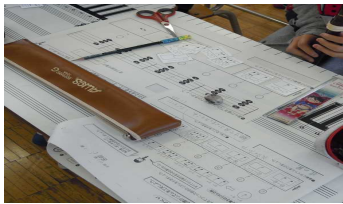
(3) 活動の流れを確認する。

【まとまりのある旋律にするためのコツ】
 ・反復する小節をつくる。
 ・変化する小節をつくる。
 ・全ての2分音符を変化させる必要はない。
 ・4小節目は全音符にする。

○活動の流れや時間の目安を板書した。
 ○活動の流れは一方通行で終わるのではなく、試行錯誤することで順番が入れ替わることを確認した。

【活動の流れ】
 ① 旋律のリズムを工夫する。
 ② 和音伴奏に合わせて演奏しながらリズムを工夫する。
 ③ つくった音楽にタイトルを付け、工夫したことを書く。
 ④ 全体で交流する。

3 リズムを工夫する。
 (1) 旋律のリズムを工夫する。



○二人で活動させることで、演奏を聴き合いながら、互いに感想や助言を伝え合わせるようにした。
 ○リズムカードを使ってリズムを工夫させることで、即興的にいろいろなパターンを試しながら音楽づくりができるようにした。
 ○リコーダーで演奏を試しながらリズムを工夫するように声を掛けた。
 ○4人グループで聴き合う場を設け、互いに感想や助言を伝え合わせた。

開

〈児童の感想・助言〉

付点のリズムが軽快な感じだね。楽しさが出ていると思うよ。



「反復」や「変化」の約束事は守られているか聴いてね。

1、2小節目に反復をいれたよ。

二分音符のままの方が、静かさが強調されるね。

(2) 和音伴奏に合わせて演奏しながら工夫する。











●演奏しながらの工夫が難しいペアに対しては演奏して聴かせ、イメージをつかませるようにした。

伴奏①・練習室、伴奏②・音楽準備室

○2つのパターンの和音伴奏を聴きながらリズムの工夫ができるように場所を設けた。

音楽の仕組みを生かして、音を音楽に構成するための試行錯誤をし、つくる音楽やその方法について自分の思いや意図をもっている。

【創③ 演奏聴取・ワークシート】

展	<p>(3) つくった音楽にタイトルを付け、工夫したことを書く。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ●他のグループと交流する中で得た工夫を取り入れるように助言した。 ●リズムの工夫ができない児童に対しては、二分音符のままでよいことを伝えた。 <p>○つくった音楽にタイトルを付けさせることで、思や意図を表現の工夫と関連付けることができるようにした。</p>
	<p>発問の工夫③</p>	
	<p>★つくった音楽にタイトルを付けましょう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「はずんでいる気分の朝」…  を反復した。 ・「夜の星空」…  を反復して、星空の広さを表した。 ・「スキップ気分」…  を1回とばしに入れた。 	
	<p>発問の工夫③</p>	
	<p>4 全体で交流する。</p>	<p>○2つの音楽のタイトル当てクイズを行うことで、思や意図を表現の工夫と関連付けて聴取できるようにした。</p>
開	<p>★今から紹介する2曲の音楽のタイトルは、「目覚まし時計」と「広い草原」です。どちらが、どのタイトルだと思いますか。また、なぜ、そのタイトルだと思いましたか。</p> <div style="display: flex; align-items: center;">  <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; background-color: #ffffcc;"> <p> のところが、目覚まし時計のベルのようだね。</p> </div> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; background-color: #ffffcc; margin-top: 10px;"> <p>始まりが  とゆったりしていて、次に  の細かいリズムで盛り上がるから、目覚まし時計で起こされている感じがするよ。</p> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; background-color: #e6e6ff; margin-top: 10px;"> <p> のところが、ゆったりしていて広い草原の感じが表れている。</p> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; background-color: #e6e6ff; margin-top: 10px;"> <p>伴奏②が、広い草原に合っている。</p> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; background-color: #ffffcc; margin-top: 10px;"> <p>旋律の音が上がっていくから、朝の始まりが感じられるね。</p> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; background-color: #ffffcc; margin-top: 10px;"> <p>伴奏①に合わせているから、元気な感じがするよ。</p> </div>	
まとめ	<p>5 学習を振り返る。</p>	<p>○自分たちでオリジナルの音楽をつくることのできたことを称賛し、音楽づくりに自信をもたせるようにした。</p> <p>○次時の学習内容を知らせ、意欲付けをした。</p>

授業の実際 9 / 9

(1) 指導目標

音楽の仕組みを生かし、音を音楽に構成することができるようにする。

(2) 展開

過程	学習活動	教師の指導 (○)、支援 (●)、発問 (★) 児童の主な反応 (・)	評価規準と評価方法
導 入 展	1 学習内容を知る。 (1) 前時を振り返る。 (2) 本時のめあてをつかむ。	○前時につくった児童の音楽を紹介し、タイトル当てクイズをした。 ○本時は、7～8時目の学習を生かしてオリジナルの音楽をつくることを伝えた。	
	2 音楽づくりをする。 (1) 音楽づくりに見通しをもつ。	○前時までの学習を振り返らせ、どのような手順で、どのように活動したらよいかを考えさせた。 ○本時は記譜にも取り組むことを伝えた。 ○前時までの音楽づくりの流れは、板書で示しておくようにした。	
開	【活動の流れ】(35分間) ① 伴奏を選ぶ。 ② つくりたい音楽のイメージを考える。 ③ 音をつなぎ、二分音符で旋律をつくる。 ③ 旋律のリズムを工夫する。 ④ 伴奏に合わせて演奏しながら、更に工夫する。 ⑤ 音楽にタイトルを付け、工夫したことを書く。 ⑥ 楽譜を書く。	発問の工夫④	
	(2) 音楽づくりをする。	○自分はどうような手順で音楽をつくるのか隣の席の友達と確認させた。 ○活動の流れや時間の目安を各自で確認させた。 ○友達と感想や助言を伝え合いながら活動するように声を掛けた。 ○反復や変化の約束事についても友達と互いに確認させた。	音楽の仕組みを生かし、音を音楽に構成している。 【技③ ワークシート・演奏聴取】

和音に含まれる音を使ってのオリジナルの音楽をつくろう。

★今日は、前時までの学習を生かし、自分でオリジナルの音楽をつくれます。あなたは、どのような手順で、どのようにつくっていきますか。

- ・前時までの活動の流れでつくる。○○さんの旋律の工夫を考にしたい。
- ・伴奏を選んだら、まず、タイトルを決めて旋律をつくるようにする。
- ・リズムの工夫は、伴奏と合わせて演奏しながら考える。
- ・旋律の音をつなぎながら、同時進行でリズムの工夫もする。

展	<p>○タイトルを付けさせることで、思いや意図を表現の工夫と関連付けることができるようにした。</p> <p style="background-color: #e0b0ff; padding: 5px; display: inline-block;">発問の工夫④</p>		
	<p style="background-color: #e0b0ff; padding: 2px;">★つくった音楽にタイトルを付け、工夫したことを書きましょう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・タイトルは、「修学旅行の帰り」です。②の伴奏を使いました。最後の音をミにして、さびしい感じにしました。 ・反復を1、2小節目で行いました。前半と後半で伴奏を変えると、雰囲気が変わりました。 		
開	<p>3 全体で交流する。</p> <p>4 学習を振り返る。</p>	<p>●リコーダーで演奏するのが困難な児童には、指導者が演奏をして見せ、イメージをつかませるようにした。</p> <p>○前時までのワークシートを掲示し、友達の工夫を自分の音楽づくりに活用させた。</p> <p>○伴奏に合わせて演奏する場所を示しておき、必要に応じて移動しながら活動ができるようにした。</p> <p>●記譜は、個別で手本を示しながら支援した。</p> <p>○つくった音楽を互いに紹介させ、オリジナルの音楽をつくることができたことを称賛した。</p> <p>○題材を振り返らせた。</p> <p style="background-color: #e0b0ff; padding: 5px; display: inline-block;">発問の工夫④</p>	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: auto;"> <p>伴奏① 練習室</p> <p>伴奏② 音楽準備室</p> </div>
	ま と め	<p style="background-color: #e0b0ff; padding: 2px;">★学習を振り返り、あなたは、どんなことをこれからの学習に生かしたいと思いますか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・音楽は、縦の重なりがあるときれいで面白くなる。いろいろ試して、「音楽の縦と横の関係」を自分でつくってみたい。 ・「縦と横の関係」があると音楽が豊かになることが分かった。もっと伴奏付きの音楽をつくってみたい。 ・歌ったり、演奏したりするときに、「音楽の縦と横の関係」を気を付けるときれいになることが分かったから、自分のパートだけではなくて全体を聴くようにしたい。 ・ハーモニーはとてもきれいだと思った。 ・4つの和音の移り変わりがきれいだと分かった。これまでは、主旋律が大切だと思っていたけど、和音で音楽の雰囲気が変わるから、和音を演奏する人も、責任重大だと思った。 	<p>○児童の感想を発表させ、題材のまとめをした。</p>